

Technical Information	
文書番号	SYMC-SBG-0801024-1
タイトル	Symantec Brightmail Gateway Version 7.7.0-17 リリースノート
対象機器	Symantec Brightmail Gateway 8200/8300 Series 旧名称 Symantec Mail Security 8200/8300 Series
ソフトウェアバージョン	7.7.0-17
プラットフォーム	-
日付	2008/10/24
参照	-
問合せ先	日商エレクトロニクス株式会社 エンタープライズ事業本部 テクノロジーソリューション統括部 セキュリティ&ネットワークグループ E-mail: symc-support@nissho-ele.co.jp

本書について

Symantec Brightmail Gateway 8200/8300 Series(以下 SBG) Version 7.7.0-17 に関する情報が含まれています。

Symantec Mail Security(SMS)は V7.7 より Symantec Brightmail Gateway(SBG)に製品名称が変更になりました。

本リリースについて

SBG Version 7.7.0-17 は、SMS Version 7.6.のマイナーアップデートです。

リソース

詳細な情報は以下より入手可能です。

<メーカーマニュアル/メーカーリリースノート(日本語)>

<http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/enterprise/sbm/7.7/manuals.html>

<メーカー ナレッジベース(英語)>

http://www.symantec.com/business/support/knowledge_base_sli.jsp

新機能

Version 7.7 の主な新機能 (Version 7.6 と比較) は以下となります。

- ・ レポーティング機能の強化
 - レポートの表示内容が変わりました。
 - レポートを PDF で保存する機能が追加されました。
- ・ セキュリティの強化
 - セキュリティレベルの高いパスワードを設定する事が可能となりました。
- ・ 管理ツール
 - ハードウェアの状態と情報を表示出来るようになりました。
- ・ 証明書
 - 中間証明書をインストール出来るようになりました。

変更された内容

Version 7.7 で変更された内容 (Version 7.6 と比較) は以下となります。

- ・ メッセージ監査ログの検索結果表示数が 250 通から 1000 通に増えました。

追加/修正内容

- Version 7.7.0-17 の追加及び修正内容は以下となります。
- ・ レポートで表示される時刻が AM/PM の形式で表示されるよう修正されました。
- ・ V7.6 で発生していた、V5 より V7.6 へアップグレードする場合に V7.6 へアップグレード後に電子メールファイアウォールの全ての設定が有効になる問題が修正されました。

日商ナレッジ

- ・ メッセージ監査ログの検索結果が最大設定値の 1000 件を超えた件数が表示される場合があります。
1 通のメールで複数の宛先が含まれている場合、To 毎に件数が表示されるために、検索結果で表示される件数は最大設定値の 1000 件を超えた件数が表示されます。
- ・ メッセージ監査ログの処理に「メッセージを中止する」と表示される場合があります。
「メッセージを中止する」とは送信元から SBG へメール送信する通信中にセッションが終了した場合に記録されます。
調査方法は、SBG が接続されている SWITCH 側にてパケットを取得後に、送信元と SBG のどちらがパケットを切断しているかご確認下さい。
SBG が切断している場合には弊社にて調査させていただきます。

既知の問題/注意事項

現在、Version 7.7.0-17 で確認されている問題は以下となります。

ここに記載の内容以外の問題に関しましてはメーカーリリースノートをご覧ください。

-
- ・ 添付ドキュメント内のキーワードスキャンでフィルタハブが crash する可能性があります。
[プロトコル]-[スキャンの設定]のコンテンツ制御設定を無効にすることを推奨します。

<参考:メーカーナレッジベース>

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-gate.nsf/docid/2006111014125463>

-
- ・ メッセージ監査ログはリアルタイム検索が出来ず、数十分後から検索が出来ます。

-
- ・ ブラウザの種類によってはレポートの最後までスクロールが出来ません。
IE7 のポップアップがタブで開かれる設定の場合には影響がありません。
他のブラウザでは画面上にカーソルを置き、マウスを左クリックした状態で最後までスクロールが出来ます。

-
- ・ ウイルスのアクションがクリーニングで RAR 形式の圧縮ファイルからウイルスを検出した場合、圧縮内のウイルスのみ削除せず、RAR ファイル自体が削除されます。
この動作により RAR ファイル内のウイルスに感染してない正常なファイルも削除されます。
-

-
- ・ SBG の Interface1、Interface2 の両方に同一のサブネットを設定すると Interface1 の MAC アドレスが返され Interface2 の MAC アドレスは返されません。

-
- ・ SBG の IP アドレスを変更する場合は CLI の clear all にて初期化後に再設定が必要となります。

-
- ・ private key とサーバ証明書のエクスポート、インポートは出来ません。

-
- ・ インスタントメッセージ機能はサポート対象外とさせて頂いております。

-
- ・ 複数台構成において ScannerOnly の機能を使用して 1 台の ControlCenter で集中管理する構成を弊社が構築してない場合、保守サポートのご提供は致しかねますのでご了承の程お願い申し上げます。
 - 2007 年 10 月 10 日現在、既にも上記構成で弊社と保守契約をご締結のお客様は引き続きサポートさせていただきます。
-

-
- ・ ポリシー > 送信者グループの「ゾンビ」、「スパムの疑い」を有効。
 「SMTP 接続を拒否する」、「SMTP 接続を遅延する」を選択した場合、拒否や遅延以外の動作になる場合があります。
 - 動作説明経路:MTA1 MTA2 SBG の経路で SBG へメールを送信した場合
 - MTA2のIPアドレスが「ゾンビ」、「スパムの疑い」と判定された場合は拒否、遅延の動作を行います。
 - MTA1のIPアドレスが「ゾンビ」、「スパムの疑い」と判定された場合はメールを一度受信している為に拒否、遅延の動作が出来ずに次の動作になります。
 - 拒否を選択している場合:メールが削除され受信者にメールが届きません。
 - 遅延を選択している場合:メールが削除され受信者にメールが届きません。
 また、送信者に対して以下のバウンスメールを送信します。
 件名:Returned Mail
 本文:Your message could not be delivered for the following reasons.
 This message has been blocked.
-
- ・ V5にて検疫ポートをデフォルト値(41025)から変更していた場合、V7.7へアップグレードすると検疫領域にメールを隔離しません。
 - アップグレード後、下記方法により対処します。
 - 管理 > コントロールセンター > リスナーポート を「41025」に変更し保存。
 - 管理 > コントロールセンター > リスナーポート を元のポートに変更し保存。
 本体再起動
-

アップグレードについて

➤ V7 からのアップデート方法

アップグレード後に自動で OS の再起動が行なわれます。

<アップグレード方法>

1. コントロールセンター(GUI)よりアップデート

- 1-1. [管理] -> 左側の[バージョン] -> [更新]をクリックする。
- 1-2. 下に表示されている “7.7.0-17” を選択 -> [説明の表示] をクリックする。
- 1-3. 下に表示されている “7.7.0-17” を選択 -> [更新] をクリックする。

<アップグレードの注意事項>

- ・ アップデート前にバックアップを作成してください。
- ・ アップデート前に検疫内のメールをすべて削除することを推奨します。バックアップファイルの作成時間、アップグレード後の DB マイグレーション時間を短縮できます。
- ・ アップデート前にメールの受信をしないようにして各キューを解除(Flush)することを推奨します。
 - [管理] -> [設定] -> スキャナのホストをクリックする。
 - 「着信メッセージを受け入れない」を選択して保存をする。
 - アップグレード後は「通常どおりにメッセージを受け入れて配信する」を選択して保存をしてください。
- ・ 更新開始から完了まで、再ブートやシャットダウンを実行しないでください。

➤ V5 からのアップデート方法

Software Updates(ソフトウェアの更新)にて入手/適用可能です。

別紙、アップグレード手順(SYMC-SBG-071010-1)及びメーカーのナレッジベースを参照ください。

V5 より V7.7 へアップデートする場合は V7.5 を経由する必要はありません。

<参考: アップグレード手順(SYMC-SBG-071010-1)>

<http://www.nissho-ele.co.jp/product/symantec/key/news/v75up.pdf>

➤ V4 からのアップデート方法

Software Updates(ソフトウェアの更新)にて入手/適用可能です。

別紙、アップグレード手順(SYMC-SMS-070115-1)及びメーカーナレッジベースを参照ください。

V4 より V7.7 へアップデートする場合は V5 を経由する必要があります。

<参考: アップグレード手順(SYMC-SMS-070115-1)>

http://www.nissho-ele.co.jp/product/symantec/key/news/manual_SMS8200ver5up.pdf

ダウングレードについて

CD リストア以外にございません。

<参考: メーカーナレッジベース>

<http://service1.symantec.com/SUPPORT/ent-gate.nsf/docid/2005040414130363>

改訂履歴

2008/10/24 初版

以上